第二次福津市都市計画マスタープラン 市民意見公募によるご意見・回答表

71 711			
		対象事案に反映	
NO	提出された意見(概要)	する:1	
		一部する:2	市(実施機関)の考え方
		しない:3	11- (><\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
		一部反映:4	
		反映ずみ:5	
1	第二次都市計画マスタープランについて 10 年後を最	4	市では「市が目指す将来像」、「分野別目標像」、「まち
	終ターゲットとした構想ではこの街の将来を見誤		づくりをすすめるための基本方針」を定める基本構想として
	る公算が極めて大きいと思います。せめて福津市		第二次総合計画の策定を進めています。
	が抱える様々な問題点の 20 年後を明らかにした上		この総合計画と各分野で策定する分野別計画とが相まっ
	で、その中間期である 2028 年までには最低ここま		て、市全体としてまちづくりの効果が生じると考えており、
	では達成しておくというプランの出し方をするべ		本計画は、居住環境や都市整備の分野の個別計画として策定
	きである。		します。
			策定に際しては、都市計画法に基づき福岡県が定める「都
			市計画区域の整備、開発及び保全の方針(都市計画区域マス
			タープラン)」に即して、地域に密着した視点から市の都市
			計画の詳細な方針や将来のあるべき姿、まちづくりの方針等
			を示しています。
			本計画においても「将来都市像」、「将来都市構造」は長
			い期間をかけて実現していくものと考えており、市が将来に
			わたって目指すべき市の骨格である「めざすまちの形く将来
			都市構造>」については期限を定めていません。
			そのうえで、その実現のために必要なこの先 10 年の取り
			組みの指針として策定しています。
			なお、必要な施策等は社会情勢や上位計画、市民ニーズ等
			の変化により時代に合わせて見直していく必要があるため、
			計画期間内であっても必要が認められる場合は計画の見直し
			を行うこととしています。
	1. 福津市を取り巻く環境の変化	4	本計画においても日本全体として人口減少社会へ移行して
	全国的には人口は絶対減の時代であり、市もこの		おり、本市も全国の人口減少傾向と相まって、限られた地域
	構造から逃れることができない。市は福岡市、北		やエリアに人口が移動していく傾向が強まっていくものと想
	九州市のベッドタウンであり両政令都市の経済・		定しています。

市場の養退に伴い、いち早くその影響を受ける。 このような環境で、経済の石屑上がりを想定した 今迄通りの行政運営は時代遅れ。 近々に縮小社会に転じる市を適正運営するため 「市のかたち」がどうあるべきか、少なくでも2 の年後を見据えた行動をとることが必要。 2. 公金に対する意識の転換 これまでの他自治体と横並び的な発想によらず福 津市独自の運営ビジョンと仕組みを構築し、これを駆使して他地区に比べ一歩先んじた街に変貌していくことが急落である。 この為には市長を頂とする執行機関のみならず、もう一つの機関である議会という専門集団ロレベルアップと将来を見据える事はない。今のうちに見入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつつ、疣収維持に少しでも貢献できる市独自の新たな雇用剖出の仕組を在性法と、有のでものがたな雇用割出の仕組を存送を、事が出来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮か社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 (1) 市民一人一人がこれまでの「対めてもらう(他カ)」から「治める(自カ)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせつきりから参画へ) (2) 縮小社会を前接とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方刷新が急落、下水道や道路に代表される。これ以上箱物中心の新規公共事業や社会インフラの郊外拡張は将来市の 現本生産化下が懸念される。これ以上箱物中心の新規公共事業や社会インフラの郊外拡張は将来市の 環本では居住区域を市街地に誘導し、人口密度を高め、人の移動や営みを効率よく行える集約型の都市構造をもったまちを目指していくこととしています。また、生活インフラを守るとともに極深の見寿命化や・掲公共通道路に代表される。これ以上箱物中心の新規公共事業や社会インフラの郊外拡張は将来市の	i		
今迄通りの行政運営は時代遅れ。 近々に縮小社会に転じる市を適正運営するため 「市のかたち」がどうあるべきか、少なくても2 0年後を見据えた行動をとることが必要。 2. 公金に対する意臓の転換 これまでの他自治体と横並び的な発想によらず福 津市独自の運営ビジョンと仕組みを構築し、これ を駆使して他地区に比べ一歩先んじた街に変貌し ていくことが急務である。 この為には市長を頂とする執行機関のみならず、 もう一つの機関である議会という専門集団のレベルアップと将来を見据える能力の自上が必須で、万が一全体事業を失敗したらそれは議会の責任が大である。 今後歳入は決して増える事はない。今のうちに見入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつつ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新たな雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと 発揮できるように、まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方別新が急務 下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上結物中心の新	市場の衰退に伴い、いち早くその影響を受ける。		本市が位置する福岡都市圏東部については、今後も人口の
近々に縮小社会に転じる市を適正運営するため 「市のかたち」がどうあるべきか、少なくても2 の年後を見据えた行動をとることが必要。 2. 公金に対する意識の転換 これまでの他自治体と横並び的な発想によらず福 津市独自の運営ビジョンと仕組みを構築し、これ を駆使して他地区に比べ一歩先んじた街に変貌し ていくことが急務である。 この為には市長を頂とする執行機関のみならず、 もう一つの機関である議会という専門集団のレベ ルアップと将来を見据える能力の向上が必須で、 万が一全体事業を失敗したらそれは議会の責任が 大である。 今後歳入は決して増える事はない。今のうちに見 入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつ つ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新たな雇用創出の仕組みを構築し、「自ら様く事が出 来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも 継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めでもらう(他力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮・社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方別新が急務 下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	このような環境下、経済の右肩上がりを想定した		流入がある地域と考えており、本計画ではいまある交通利便
「市のかたち」がどうあるべきか、少なくても2の年後を見据えた行動をとることが必要。 2. 公金に対する意識の転換 これまでの他自治体と横並び的な発想によらず福 津市独自の運営ビジョンと仕組みを構築し、これ を駆使して他地区に比べ一歩先んじた街に変貌し ていくことが急務である。 この為には市長を頂とする執行機関のみならず、 もう一つの機関である議会という専門集団のレベ ルアップと将来を見据える能力の向上が必須で、 万が一全体事業を失敗したらそれは議会の責任が 大である。 今後歳入は決して増える事はない。今のうちに見 入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつ つ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新た な雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出 来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも 継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めでもらう(他力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと 発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方刷新が急務 下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	今迄通りの行政運営は時代遅れ。		性や生活利便性をさらに高め、すべての世代が暮らしやす
 ○年後を見据えた行動をとることが必要。 ② 公金に対する意識の転換 本計画では、宮地嶽神社や津屋崎干軒、3つの直販所等を観光・交流機能の強化を図ると共に、観光資源を連携させることで交流人口を呼び込み、経済活動の活性化を計ることとしています。 ると共に、観光資源を連携させることで交流人口を呼び込み、経済活動の活性化を計ることとしています。 市内の経済である。この為には市長を頂とする執行機関のみならず、もう一つの機関である議会という専門集団のレベルアップと将来を見据える能力の向上が必須で、万が一全体事業を失敗したらそれは議会の責任が大である。今後歳入は決して増える事はない。今のうちに見入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつつ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新たな雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方刷新が急務下水道や道路に代表される。これ以上箱物中心の新で水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新また、生活インフラを守るととに構築の長寿命化や・また、生活インフラを守るととに構築の長寿命化や・また、生活インフラを守るととに構築の長寿命化や・ 	近々に縮小社会に転じる市を適正運営するため		く、多くの人が集う活力あるまちづくりを行い、都市機能を
2. 公金に対する意識の転換 これまでの他自治体と横並び的な発想によらず福 津市独自の運営ビジョンと仕組みを構築し、これ を駆使して他地区に比べ一歩先んじた街に変貌し ていくことが急務である。 この為には市長を頂とする執行機関のみならず、 もう一つの機関である議会という専門集団のレベルアップと将来を見据える能力の向上が必須で、万が一全体事業を失敗したらそれは議会の責任が大である。 今後歳入は決して増える事はない。今のうちに見入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつつ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新たな雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方別新が急務下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	「市のかたち」がどうあるべきか、少なくても2		拡散させないコンパクトなまちを基本とし、人口密度を高め
これまでの他自治体と横並び的な発想によらず福 津市独自の運営ビジョンと仕組みを構築し、これ を駆使して他地区に比ペー歩先んじた街に変貌し でいくことが急務である。 この為には市長を頂とする執行機関のみならず、 もう一つの機関である議会という専門集団のレベ ルアップと将来を見据える能力の向上が必須で、 万が一全体事業を失敗したらそれは議会の責任が 大である。 今後歳入は決して増える事はない。今のうちに見 入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつつ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新たな雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも 継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を 目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他 カ)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと 発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、 管理体制の考え方刷新が急務 下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	O年後を見据えた行動をとることが必要。		ることで効率的な都市経営を実現することとしています。
津市独自の運営ビジョンと仕組みを構築し、これを駆使して他地区に比べ一歩先んじた街に変貌していくことが急務である。この為には市長を頂とする執行機関のみならず、もう一つの機関である議会という専門集団のレベルアップと将来を見据える能力の向上が必須で、万が一全体事業を失敗したらそれは議会の責任が大である。今後歳入は決して増える事はない。今のうちに見入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつつ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新たな雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方別新が急務下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	2. 公金に対する意識の転換	4	本計画では、宮地嶽神社や津屋崎千軒、3つの直販所等を
を駆使して他地区に比べ一歩先んじた街に変貌していくことが急務である。この為には市長を頂とする執行機関のみならず、もう一つの機関である議会という専門集団のレベルアップと将来を見据える能力の向上が必須で、万が一全体事業を失敗したらそれは議会の責任が大である。今後歳入は決して増える事はない。今のうちに見入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつつ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新たな雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮い社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方刷新が急務下が重済に表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	これまでの他自治体と横並び的な発想によらず福		観光交流資源として、それぞれの観光・交流機能の強化を図
でいくことが急務である。 この為には市長を頂とする執行機関のみならず、 もう一つの機関である議会という専門集団のレベルアップと将来を見据える能力の向上が必須で、 万が一全体事業を失敗したらそれは議会の責任が 大である。 今後歳入は決して増える事はない。今のうちに見入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつつ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新たな雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方刷新が急務 下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	津市独自の運営ビジョンと仕組みを構築し、これ		ると共に、観光資源を連携させることで交流人口を呼び込
この為には市長を頂とする執行機関のみならず、もう一つの機関である議会という専門集団のレベルアップと将来を見据える能力の向上が必須で、万が一全体事業を失敗したらそれは議会の責任が大である。 今後歳人は決して増える事はない。今のうちに見入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつつ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新たな雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方刷新が急務下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	を駆使して他地区に比べ一歩先んじた街に変貌し		み、経済活動の活性化を計ることとしています。
もう一つの機関である議会という専門集団のレベルアップと将来を見据える能力の向上が必須で、万が一全体事業を失敗したらそれは議会の責任が大である。今後歳入は決して増える事はない。今のうちに見入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつつ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新たな雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせつきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方刷新が急務下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	ていくことが急務である。		地方創生の考え方からも、市内での消費を興し、市内の経
ルアップと将来を見据える能力の向上が必須で、 万が一全体事業を失敗したらそれは議会の責任が 大である。 今後歳入は決して増える事はない。今のうちに見 入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつ つ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新た な雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出 来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも 継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を 目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他 力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと 発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、 管理体制の考え方刷新が急務 下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管 理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	この為には市長を頂とする執行機関のみならず、		済循環が起こることが重要と考えています。
万が一全体事業を失敗したらそれは議会の責任が 大である。 今後歳入は決して増える事はない。今のうちに見 入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつ つ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新た な雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出 来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも 継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を 目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他 力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと 発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、 管理体制の考え方刷新が急務 下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管 理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	もう一つの機関である議会という専門集団のレベ		
大である。 今後歳入は決して増える事はない。今のうちに見入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつつ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新たな雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方刷新が急務 下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	ルアップと将来を見据える能力の向上が必須で、		
今後歳入は決して増える事はない。今のうちに見入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつつ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新たな雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方刷新が急務下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	万が一全体事業を失敗したらそれは議会の責任が		
入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつ つ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新た な雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出 来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも 継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を 目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他 カ)」から「治める(自カ)」為の発信力をもっと 発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、 管理体制の考え方刷新が急務 下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管 理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	大である。		
つ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新たな雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他力)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方刷新が急務下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	今後歳入は決して増える事はない。今のうちに見		
な雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方刷新が急務下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	入りに応じた街の在り方を適正尺度に是正しつ		
来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも 継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を 目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他 力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと 発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、 管理体制の考え方刷新が急務 下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管 理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	つ、税収維持に少しでも貢献できる市独自の新た		
 継続的・安定的な市民生活が維持できるように。 3.縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方刷新が急務下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新 4 本計画では居住区域を市街地に誘導し、人口密度を高め、人の移動や営みを効率よく行える集約型の都市構造をもったまちを目指していくこととしています。また、生活インフラを守るとともに橋梁の長寿命化や・ 	な雇用創出の仕組みを構築し、「自ら稼ぐ事が出		
3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を目指す。 ①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方刷新が急務下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	来る福津市」を目指し、老いも若きもこれからも		
日指す。	継続的・安定的な市民生活が維持できるように。		
①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他力)」為の発信力をもっと発揮できるように(まかせっきりから参画へ) の提供を追及し、目的の達成を目指すこととしています。 ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、管理体制の考え方刷新が急務下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新 4 の提供を追及し、目的の達成を目指すこととしています。 本計画では居住区域を市街地に誘導し、人口密度を高め、人の移動や営みを効率よく行える集約型の都市構造をもったまちを目指していくこととしています。 また、生活インフラを守るとともに橋梁の長寿命化や・ 	3. 縮小社会到来に即した福津市政運営の最適化を	4	本計画に掲げる施策の実施にあたっては、関係する民間事
カ)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと 発揮できるように(まかせっきりから参画へ) ②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、 管理体制の考え方刷新が急務 下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管 理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	目指す。		業者や市民団体との連携により官民協働による公共サービス
発揮できるように(まかせっきりから参画へ)4本計画では居住区域を市街地に誘導し、人口密度を高管理体制の考え方刷新が急務4本計画では居住区域を市街地に誘導し、人口密度を高め、人の移動や営みを効率よく行える集約型の都市構造をもったまちを目指していくこととしています。また、生活インフラを守るとともに橋梁の長寿命化や・	①市民一人一人がこれまでの「治めてもらう(他		の提供を追及し、目的の達成を目指すこととしています。
②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、	力)」から「治める(自力)」為の発信力をもっと		
管理体制の考え方刷新が急務 下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管 理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新	発揮できるように (まかせっきりから参画へ)		
下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管 せったまちを目指していくこととしています。 理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新 また、生活インフラを守るとともに橋梁の長寿命化や・	②縮小社会を前提とした社会資本の維持・更新等、	4	本計画では居住区域を市街地に誘導し、人口密度を高
理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新また、生活インフラを守るとともに橋梁の長寿命化や・	管理体制の考え方刷新が急務		め、人の移動や営みを効率よく行える集約型の都市構造を
	下水道や道路に代表されるインフラが老朽化し管		もったまちを目指していくこととしています。
規公共事業や社会インフラの郊外拡張は将来市の 橋梁の適切な維持管理及び更新に努めることとしていま	理水準低下が懸念される。これ以上箱物中心の新		
	規公共事業や社会インフラの郊外拡張は将来市の		橋梁の適切な維持管理及び更新に努めることとしていま
お荷物になりかねない。市内数箇所の拠点を中心 す。	おたぬにかりかわれ、 十中粉笠毛の物上を中心		

	,		
	に住居地域と非住居地域を明確に区分し、インフラ整備を居住地に絞込み、そこを中心に居住地を漸次変更してもらう。 また非居住地域は農業振興地域に特化するなど街の利用方法を将来型に変貌させる。		
	③次世代を担う子ども達の健全育成 行政指導の郷育体制機能、学童保育等の更なる活性化を図り、「躾や情操の教育」について市民全体が関わり、子どもたちの健やかな成長に側面支援できるカリキュラムの充実を目指す。 この仕組みが健全に機能することが魅力的な街として永住地を模索する次世代の人たちの選択肢として寄与する。	3	子ども達の健全育成に関するご意見であり、総合計画や分野別計画のこども子育て支援事業計画等の策定の際に検討されることとなります。
	④観光を通じて他地区から人を呼べる街へ よそにはない福津市独自の提案内容・提案力を磨 き発信力を向上させ、これらを全うできる受入れ 体制の充実が必須。	4	本計画では観光交流スポットや観光交流ゾーンの観光・交流機能の強化を図ると共に他の観光資源とも連携することで 交流人口を呼び込み、経済活動の活性化を図ることとしています。
	⑤買い物弱者問題の解消について 居住地域を中心に住みなおしを図り、すべての公 共施設(病院等を含めて)が徒歩圏内にある環境 にすれば自ずとミニバスのルート等のこの拠点中 心に設定し、わかり易さと利便性の向上が実現で きる。	4	本計画では居住区域を市街地に誘導し、人口密度を高め、 人の移動や営みを効率よく行える集約型の都市構造をもった まちを目指していくこととしています。 また、高齢者をはじめとする交通弱者の利便性を確保する ために、交通結節点や生活に必要な施設と市内各地を結ぶ公 共交通網を強化することとしています。
2	1. 維持費や修繕費の必要な「箱もの」は造らず、 資産は買わない。 ・市債約15億円を「O」に、将来負担比率を 「-10%」を目指す。	3	本計画では、福津市公共施設等総合管理計画に基づき橋梁 の長寿命化や道路・橋梁の適切な維持管理及び更新に努める こととしています。「箱もの」市の公共施設(いわゆる箱も の)の更新等については、同計画に基づき行われることなり ます。
	2. 「子ども天国」で若い世代が移り住む街を目指す。 ・オリンピック後に経営不振のホテルを賃貸し、 「福岡県福津市 東京学生女子寮」を低い寮費	4	本計画では将来都市像として多くの人に「住みたい・住み続けたい」、「訪れたい」と思ってもらえるまちづくりを目指しています。 特に、地域拠点である東福間駅周辺地区では既存の住宅ス

で運営する。

- ・福間駅前のマンションを勝浦、上西郷、神興、 神興東小学校区にする。
- ・通学バスを市が民間会社に委託する。
- 「シーサイドパーク海岸通り」から福間駅まで の道路を時間帯で一方通行にする。
- ・「空家等対策の推進に関する特別措置法」を活用し、民間の保育所、幼稚園、こども園の設置 を促す。
- ・「子ども・子育て支援法の改正」に伴い、近隣 自治体の待機児童を受け入れる。
- ・共通の通園バスを市が民間に委託する。
- ・福津の建設業協会に建設から維持管理まで含めた技術を提供して貰う。
- 下水道普及率を100%にする。
- ・福間駅にある「エンゼルスポット」は維持する。
- ・夕陽館の無料送迎バスを夕方に運行する。

トックや学校や保育所等の子育て環境を生かし、新たな子育で世帯を受け入れるための住宅地として古い開発団地の 再生に取り組むこととしています。

また、公共交通については「地域公共交通網形成計画」を 策定し、計画に基づき交通事業者等と役割分担しつつ、ふ くつミニバスの運行経路等の見直しを行うこととしていま す。

なお、寮の運営等個別の施設設置・維持等については、個別の施策に関するものについては、本計画への反映はおこないません<u>が</u>、小学校区の学区については、勝浦小学校には入学特別認可制度があり、市内居住の児童で制度の趣旨に賛同すれば入学できる制度が既にあります。